



2023

学校だより 本荘

Smile

令和5年度 第3号
令和5年4月12日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

4月10日(月) 始業式の日の様子です。学級開きはとっても大切なのです。



2年井上学級の様子



3年原田学級の様子



4年玉井学級の様子



5年下原学級の様子



6年福嶋学級の様子



一生懸命に働く高学年のみなさん



なかよし学級1組今村学級の様子



なかよし学級2組西山学級の様子



始業式の様子

令和5年4月10日(月)は、就任式、始業式の日でした。この日は、式の他にも、担任紹介、学級活動における「学級開き」「授業開き」等が行われました。この日は、新しく赴任した先生方や各学年の学級担任にとってもデビュー戦です。本荘小の先生方にとっても特別な日なのです。

新しい学年に進級した子どもたちは、明るい希望をもって、笑顔で登校しています。その一人一人を大切にするためにも、担任は「学級開き」に全力で取り組みます。

では「学級開き」とはどのようなものなのでしょうか？私は次のように考えます。

新しい学年を迎えた児童は、新年度に向けた新たな意欲や期待とともに、新しい学年、先生、時によっては新しい仲間という環境の変化に対する不安を抱えながら教室にいます。

まずは、児童一人一人がもっている「今年こそ(今年も)がんばって自分を大きく成長させたい。」「いろんなことに挑戦したい。」という願いをしっかりと受け止めることが必要です。その上に立って、「新しい学級でやっていけるだろうか。」という不安を取り除き、新しい学年への希望や期待を膨らませ、学習意欲や活動意欲を高めるのが学級開きの役割だと考えます。

そのために、学級担任は「担任第一声」で担任としての願いや思い、それを具現するために大切にしていけることを全ての児童に分かりやすく伝える所信表明を大事にするのです。

次に、学級開きから約一週間のうちに、担任が「一年間大切にしていこう」を学級の具体的なルールとして徹底していきます。

(裏面に続きます)

新しい学級になって一週間という期間は、新しいことにもチャレンジしていこうという児童の意欲が一番高いときです。その期間を逃さず、できていること、できるように努力していることを認め励ますことを大切にして、学級のルールを徹底していくのです。

これらの取組を通して、児童は、「この先生と、この仲間と一年間がんばっていこう。」という意欲を高め、楽しく充実した一年間になりそうだという明るい見通しをもつことができるのです。

私は、学級担任時に、「学級開き」に全力を傾けておりました。「いかにこの新しいクラスは魅力的で、よく学び、よく遊ぶことができるということ」、「これから楽しい毎日が待っているということ」などを子どもたちに伝えようとしていました。そして担任が「どれだけ学級の子もたちのことを想い、考え、ともに生きていこうとしているか」を決意表明と言う形で伝えていました。かなりのエネルギーと準備期間をかけて取り組んでいました。

本荘小の各学級担任も、この初日を大変重要と考え、いろいろな創意工夫を凝らしております。各担任がそれぞれの個性を活かして、子どもたちを伸ばそう、成長させようとしておりました。

子どもたちが成長するためには、ご家庭との連携は必須です。本校教育へのご理解とご協力を改めてお願いするところです。

本荘小学校は3つのS(「Smile 笑顔」「Sincere 誠実」「Sympathy 思いやり」)を大事にします。教育スローガンは、「笑顔と誠実さと思いやりで『学校が楽しい、授業が楽しい、みんな大好き』本荘小」としています。その中で「あいうえお」いっぱいの子どもを育てたいと思います。各学級担任に代わりまして、ご挨拶を申し上げます。「1年間よろしくお願い致します。」(校長)

※1年生の様子は、また後日です。

校長先生の虫眼鏡 「藤の花がきれいです。」

本校HPの写真にもなっている職員室ベランダを飾る藤の花です。藤の花の花言葉は、「優しさ」「歓迎」等。今季節の本荘小学校にふさわしいお花だと思ふ校長先生でした。

